

どう減らす我が家のごみ

ごみ減量のススメ



ごみ箱とは別に紙リサイクル用の箱を準備して、分別を習慣づけましょう。

私たちの生活と切っても切り離せないごみ。このうち、大半を占める可燃ごみは、出雲エネルギーセンターで処理しています。今回は、エネルギーセンターに持ち込まれるたくさんのごみについて、一緒に考えてみましょう。



食品の外箱、菓子箱、封筒やラップの芯などをごみ袋に入れていませんか。これらの雑紙もリサイクルできます。小さなメモなどは、散らばらないよう、不要の封筒や紙袋に入れ、ひもでしばって出すと簡単です。雑紙は、雑誌・本といっしょに古紙収集へ

燃やさないで減らす

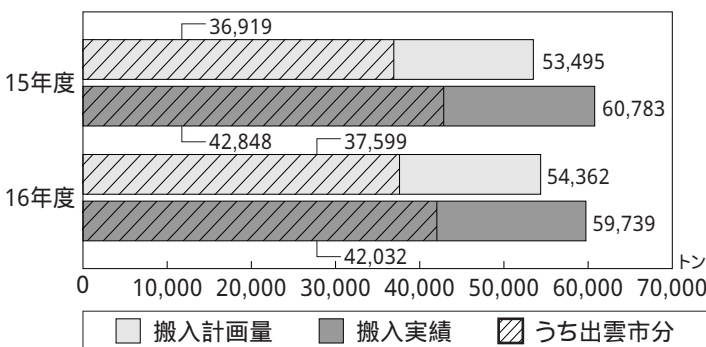
平成15年10月から本格稼働している出雲エネルギーセンター（芦渡町）は、鳥根県のごみ処理広域化計画に基づき、出雲市のほか、斐川町、大田市など6つの自治体の可燃ごみを処理しています。1日に約109トン処理できる炉を2基（A系・B系）備えています。

この施設では、ごみを焼却するときの余熱を利用して、蒸気タービンで発電も行っています。この電気はセンター内や近くにある『しまね花の郷』に送電して利用されています。

燃やさないで減らす

平成16年度、エネルギーセンターに搬入された可燃ごみは、

グラフ1 可燃ごみの搬入計画量と搬入実績



約6万トン。当初の計画量を5千トンほど上回っています（グラフ1参照）。

このままごみの量が増え続けられ、収集や処理の費用がかさむだけでなく、CO₂（二酸化炭素）の排出量が増え、地球温暖化をさらに進めてしまうおそれがあります。

ちなみに、出雲市民が1日に出すごみの量は、一人あたり平均で1.2キログラム。このうち、800グラム近くが可燃ごみとなっています。

燃やさないで減らす

可燃ごみの半分近くを占める紙・布類をごみにしないよう心がけたり、生ごみの水切りを十分にすることで、ごみはぐっと減らせます（グラフ2参照）。

そこで、すぐにもできることをいくつか紹介します。

ごみをつくらない
過剰包装を避ける。使い捨て製品よりも、詰め替え製品を利用する。買物にはマイバッグなどを持参して、レジ袋を断る。
徹底的に再使用
小さくなった洋服などは、誰かに譲るなどして、必要な人に使ってもらいましょう。

再び資源として再生しよう

古紙は、金属やビニールなどの異物は取り除いて、「新聞・折込チラシ」、「雑誌・本・雑紙」、「紙パック」、「ダンボール」の4種類に分別してください。

出雲・多伎・湖陵・大社地域は紙リサイクルステーションへ、それ以外の地域は集積場へ出してください。

ペットボトル

ふた・ラベルをはずして、中を洗います。なるべくつぶして、指定袋（透明）に入れ、不燃物の集積場に出してください。

生ごみ

生ごみは、処理機を利用して、たい肥化することができます。市では、生ごみ処理機器を購入する際の補助制度を設けていますので、ぜひご利用ください。

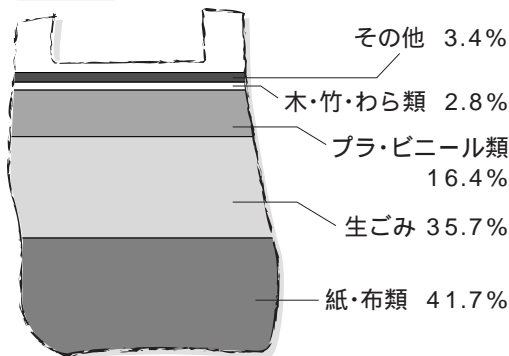
使用済み割りばし

9月1日から市内全域で回収を始めました。洗って、乾燥させたものを本庁、各支所および出雲地域の各コミュニティセンターの回収ボックスに入れてください。

廃食用油

本庁および各支所に設置している回収タンクに移してください。

グラフ2 ごみの種類・組成分析結果



周辺環境の調査結果

出雲エネルギーセンターでは、施設の供用開始時から、施設が周辺環境に及ぼす影響を大気質・騒音・振動・交通量・水質などについて毎年度調査しています。

中でもダイオキシン類の調査結果は、次のとおりで、環境基準を十分に満たしています。その他の調査項目についても、施設が稼働する前の状況と大きな変化はみられていません。

エネルギーセンターの排ガスダイオキシン類 調査結果
単位：ナノグラム（10億分の1グラム）

調査時期	H16.1	H16.8	H17.1
A系	0.0000064	0.0000022	0.0000015
B系	0.0003100	0.0000018	0.0000022
環境基準	0.1		

注意！ごみ収集車から出火



消火活動の様子（8月22日 馬木北町）

8月、市内で破砕ごみの収集車からの出火が3件も相次ぎました。原因は、いずれもカセットボンベなどに残っていたガスと考えられます。

ボンベやスプレー缶などは、中身を使い切ってから、穴を開け、ガスを抜いてから捨てましょう。ご協力をお願いします。

【回収は月々金8時30分～17時（閉庁日を除く）】。回収は植物油に限りません。

市民全員が、1日に出すごみの量を100グラムずつ減らせば、年間で5千トン以上の削減につながります。少しずつでも構いません。

人ひとりの心がけで、ごみの減量に努めましょう。

可燃ごみ処理についてのおたずねは
出雲エネルギーセンター
9225
ごみ減量・リサイクルについてのおたずねは
資源リサイクル課
0530